

# 2014年8月3日 13:30～ 「市民による住民意向調査」ステップⅠ レポート1

## 市道弥富相生山線を考える市民の会 住民意向調査検討委員会

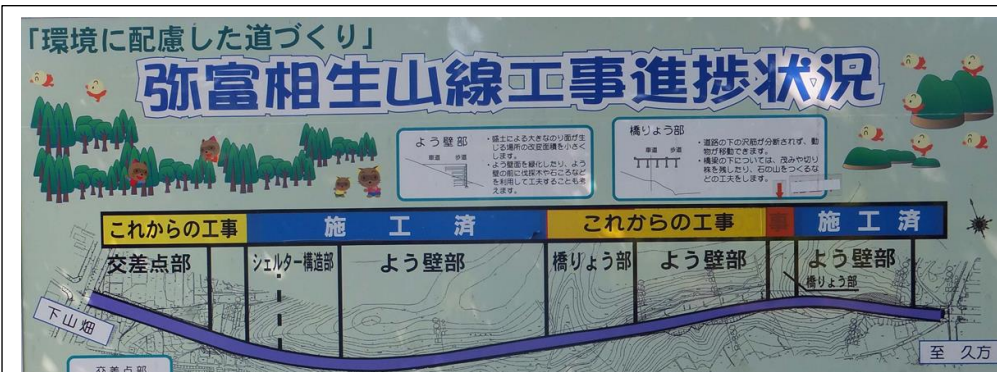
この日は「市民による住民意向調査」のステップⅠ。経緯と現状の報告の後、緑地の現状が動画で紹介されました。その後、討論に移りましたが、意見続出で討論は盛り上がりました。



7月8～31日まで募集して集まった46の案を中心に調査の方法・内容・調査対象の年齢・地域などについて検討したのですが、結局一案に絞り切れず、結論は8月31日に持越しました。

## 市民による住民意向調査検討会議Ⅰ-まとめ

1. 緑地保全にしても建設再開にしても、それぞれの理由が併記された資料がほしい。
2. 道路を作った場合、作らなかった場合のメリット・デメリットを一目で判断できるようなものを示したらどうか。
3. 中断中の4年半で再びオオタカの営業があり、緑地の自然が戻ってきた現状や、道路建設の進捗状況はまだ5割にも達していないと思うが、その現状を理解できる資料が必要。
4. 相生山緑地が都市計画緑地であり、そこを道路が横切ることの問題であることを示して欲しい。
5. 道路は4学区だけの問題ではない。昭和高校の交差点は今でも渋滞が酷いが、道路が開通したらどうなるだろうか？
6. 自然保護の観点からすると、環境問題は4学区だけではなく、名古屋市全体、愛知県全体の問題であり、世界的な問題だ。
7. 中止になった場合、作ったものの利用は我々の責任で決められるものではない。
8. 中止になった場合、今までの費用が無駄になるという意見があるが、道路を作ったらそれを永久に維持するための費用が莫大にかかる。
9. 建設してしまった道路を撤去するのに金がかかると言うが、跡地利用を考えればよい。
10. 道路を作ったら取り返しがつかないことになる。八事太白溪線では、すでに通っている道路の影響で地下水が出ないなどの現象が起きている。道路が通れば騒音、光害、振動などの問題が必ず起きる。それを「今後の課題だ」と言う無責任な態度は許されるものではない。確証がないものは中止するべきである。
11. 道路建設の経済的な効果は限定的だが、このことを通じて儲ける集団が必ずいる。そのことが政治的な中立を侵し、市民の間に対立を生じさせているのでは？
12. ヒメボタルを毎年見ているが、生態系を考え、生命のいのちを守るよう、社会全体が持続的につながることが大切だと思う。
13. 縦割り行政なので、他の関連部局にも訴え、街づくりを名古屋市とともに考えるように出来ると良い。
14. 意向調査の結果をどうするのか。世論調査でも千とか三千とかの程度でやっている。市民でやる現実味は？名古屋市の進める検討委員は、現在のままでは市民の意見が反映された意向調査にはならないのではないだろうか？私たちが今ここでやっていることが重要だと思う。



道路80%完成は本当か？これは相生山緑地にある名古屋市の進捗率の看板です。着手済が80%。工事完成ではありません。弥富相生山線は緑が丘から久方交差点までです。